

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年2月10日(2005.2.10)

【公開番号】特開2003-105139(P2003-105139A)

【公開日】平成15年4月9日(2003.4.9)

【出願番号】特願2001-341747(P2001-341747)

【国際特許分類第7版】

C 08 L 21/00

F 16 G 1/06

//(C 08 L 21/00

C 08 L 9:00)

【F I】

C 08 L 21/00

F 16 G 1/06

C 08 L 21/00

C 08 L 9:00

【手続補正書】

【提出日】平成16年3月3日(2004.3.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

加硫可能なゴム100重量部に対して、

(a) 還元粘度が0.1~4のシンジオタクチック-1,2-ポリブタジエン(SPB)が1~30重量部と、

(b) 無機補強剤が30~70重量部

を配合してなることを特徴とするベルト用ゴム組成物。

【請求項2】

該加硫可能なゴムが、天然ゴムであることを特徴とする請求項1に記載のベルト用ゴム組成物。

【請求項3】

該SPBの配合量が3~25重量部であることを特徴とする請求項1~2に記載のベルト用ゴム組成物。

【請求項4】

該無機補強剤の配合量が35~65重量部であることを特徴とする請求項1~3に記載のベルト用ゴム組成物。

【請求項5】

(a) のSPBの^{1~3}C-NMRによる1,2結合含量が70%以上で且つ1,2結合中のシンジオタクシティーが90%以上あることを特徴とする請求項1~4に記載のベルト用ゴム組成物。

【請求項6】

(a) のSPBの融点が110~160であることを特徴とする請求項1~5に記載のベルト用ゴム組成物。

【請求項7】

(b) の無機補強剤がカーボンブラックであることを特徴とする請求項1~6に記載のベ

ルト用ゴム組成物。

【請求項 8】

J I S K 6 2 5 1 の引張試験で測定した 1 0 0 % モジュラスが 4 ~ 6 M P a である請求項 1 ~ 7 に記載のベルト用ゴム組成物。